

動物園からこんにちは

札幌市立伏見中学校

第2学年理科資料

こんにちは。円山動物園の「幅崎」です。動物たちは移り変わる季節をのりきって、次の季節に活躍できるようからだをなおすしくみを持っています。たとえば、夏毛と冬毛です。季節によって違う毛が生えることで移り変わる季節を生き抜いています。今日は、「この季節のペンギンは！」です。



ペンギンは、水の中を自由に泳ぎ回りますが、実はれっきとした「鳥類」です。その証拠をいくつか探してみましょう。タイミング次第では、右のように担当の足利キーパーが直接エサを与えている場面にヒットします。食べる様子を見ると魚を「まるのみ」します。実は理由があるのです。鳥類は、もともと空を飛ぶためのしくみを持っています。その基本は、軽量化です。彼らの特徴として「歯」がないのです。歯は、意外と重いのです。動物科学館に「ゾウの歯」の展示がありますがずっしりと重いということがわかります。次にくらだに対して頭の大きさを比べてみます。友情出演は、ほ乳類代表のボルネオオラウータン「弟路郎」です。ペンギンは彼と比べて頭が小さいことがわかりますね。



さて、ペンギン舎を見回すと泳いでいないペンギンがいます。夏は暑いので苦しいのでしょうか。いいえ、違います。このペンギンは羽根が抜けています。病気？、これも違います。鳥の羽根は一生涯のものではなく生え替わるものなのです。今はその途中で、古い羽根が抜けて、新しい羽根が下から生えてきます。これを「換羽」といいます。まもなくこのペンギンも自由に飛べる(水中を泳げる)ようになります。普段食べている鶏の卵も、季節によつては、値段が高くなる時がありますが、実はこのときが、鶏の換羽の時期なのです。ほかにも鳥類の特徴が、見つかります。自分のからだなどと比べてみると発見しやすいので、時間をかけて観察してみて、レポートしてください。(フンボルトペンギン、ペンギン目ペンギン科)



リスタート委員会？

「リス・タート」ではなく「リ・スタート」です。新聞を読んでいますか？円山動物園をもっと活用しようということで、ジャイアントパンダのいる「上野動物園」の園長などがアドバイスをくれることになりました。ところで、授業でチンパ館「マチカ」のプリントが配られたはずですが、それを手に動物園に行き、観察レポートを出した生徒は何人いますか。動物園に行き自分の疑問を「スタッフ」に質問していますか。動物園は、全員が行く学校とは違って「行きたい人が行く」施設です。「学びたい」という気持ちが「行きたい」になると思うのですが…。



観察のポイントや動物園を効率よく利用するコツを紹介してきましたが、夏休みの宿題や自由研究で活用できそうですか。最も大切なことは、事前学習をしっかりと、調べたいことを「学校を通して連絡してもらおう」ことです。積極的に理科の先生に相談しましょう。また実際の観察は、時間的に余裕を持って下さいね。動物の体調が悪かったり、キーパーがほかの作業に入っていたりすることがあります。「休んでいる生徒」や「他のクラスの授業の先生」に対応を求めると同じです。では、また。